

2010 年度事業報告書

特定非営利活動法人 映像記録

I 事業期間

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日

II 事業の成果

2010 年度の締めくくりとなる 2011 年 3 月に未曾有の災害となった「東日本大震災」が起き、設立以来大学の社会貢献活動に映像面から深くかかわってきた映像記録にとって、その真価が今後さらに一層問われていくことになるだろう。

2010 年度の 1 年を改めて総括してみると、クライアントの比重が大きく 2 つに分かれることとなったことがわかる。即ち 1 つは大学の、主として防災、社会貢献活動に寄与する学生の育成用ビデオ教材の作製であり、もう 1 つは、一般個人・グループ・団体・企業などからによる市民活動のツールとしてのビデオ制作である。後者にはホームページを見た NPO からの依頼が多く含まれ、NPO 法人映像記録の設立趣旨を理想的にクリアする収穫となっている。講演会、シンポジウム、ワークショップなどの完全収録はもとより、発達障がいの子どものためのスポーツ教材 DVD シリーズや、英語版・中国語版を含む防災・減災キャンペーンビデオ、食の安全や健康的な暮らしを探究する団体の市販用ソフトの制作など、多くの実績を残せた。また、カラオケやダンスや太極拳の発表会など一般市民による趣味や交流の活動記録も数多く制作した。中でも増えたのが、音声面で特に技術を要求されるコンサート系の収録である。学校の音楽祭や地方都市での子ども歌舞伎、民謡大会など伝統文芸の収録にとどまらず、繊細な生音声の収録に神経を使うピアノや邦楽のコンサート、それとは反対に大音響のライブ演奏、さらには年末の「第九」の大合唱の収録に至るまで、リピーター依頼が増加している事実は、とりもなおさず映像記録の誠実な制作姿勢と技術的なクオリティの高さを証明するものだと自負している。また、認知度が高まるにつれて一般企業からの PR 系のビデオ制作依頼も増えている。

冒頭に書いたように 2011 年度以降長いスパンでかかわっていくことになるであろう「東日本大震災」の被災地復興支援に寄与するビデオ制作を始めとして、今後一層スタッフ・機材の充実に努め、通常のプロダクションとは一線を画するビデオ制作活動を展開し、社会貢献の一端を担っていければと考えている。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 神戸学院大学関連事業

(内 容) 神戸学院大学及び連携大学における学術、文化、芸術、又はスポーツなどについての授業、講座、講演会などの記録

(実施場所) 神戸学院大学、学内外

(実施日時) 2010年4月～2011年3月

(事業の対象者) 神戸学院大学

(収 入) 6,815,258 円

(2) (事業名) (1) 以外の事業

(内 容) 大学、研究機関、ボランティアグループ、地域グループ等における活動の記録や広報・活動促進の為に DVD の制作

(実施場所) 京都、明石、大阪他

(実施日時) 2010年4月～2011年3月

(事業の対象者) 市民サポートセンター明石、NPO 法人チットチャット、他

(収 入) 5,901,727 円

2 その他の事業

無し

IV 社員総会の開催状況

第5回通常総会

(日 時) 2010年7月10日19時より

(場 所) 本法人事務所

(社員総数) 16名

(出席者数) 13名(委任状を含む)

(内 容) 第1号議案 前年度決算及び、事業報告の件
審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 本年度予算及び、活動計画の件
審議の結果、全員一致で承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第6回理事会 2010年7月10日18時より

(内 容) 第1号議案 前年度決算及び、監査報告の件
審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 本年度事業計画の件
審議の結果、全員一致で可決承認